

神戸新聞マイベストプロ神戸 掲載記事内容

【氏名】

西川達也（にしかわ たつや）

【肩書き】

生徒の将来に向き合う教育のプロ

【会社名】

株式会社 理数学院

【事業内容】

- 学習塾の運営
- 教材作成
- 教室の FC 展開
- 家庭教師
- 中古教材の買い取り

【専門分野】

- 小学校・中学校・高等学校の全教科指導

【職種】

塾講師

【住所】

本部・広陵理数英語学院
兵庫県神戸市北区筑紫が丘 2 丁目 15-6

【電話】

0120-19-1016

【プロフィール/その他掲載事項】

白川台教室

兵庫県神戸市須磨区白川台 1 丁目 36-1 光山ビル 2 階 5 号室

六甲教室

兵庫県神戸市灘区山田町 3 丁目 2 番 6 号 六甲リッチライフ&プラザ 1-F

長田教室

兵庫県神戸市長田区池田広町 9-4 藤原ビル 2 階

ロボット教室

本部・広陵理数英語学院および六甲教室内

■プロの強み

きめ細かい指導で勉強方法の質向上を促す

■プロの強み説明文

勉強すること自体を目的にするのではなく、なぜ勉強するのか目的意識を持たせながら「どのようにして勉強すれば短時間で、より深い理解が得られるのか」に主眼を置いた指導をしています。

【経歴】

東大寺学園中学校

※陸上部に所属し、3年生の時に市の大会で砲丸投げ優勝

東大寺学園高等学校

※陸上部に所属し、2年生の時に円盤投げで県大会優勝

3年生の時に円盤投げで近畿大会決勝進出

神戸大学農学部応用動物学科

※アメリカンフットボール部・関西1部リーグ

神戸大学大学院 自然科学研究科 博士前期過程応用動物学専攻

1998年（平成10年）10月 阪急六甲駅前にて前身となる学習塾「西川塾」開校

2001年（平成13年）9月 春日野道に移転

2003年（平成15年）9月 三宮東教室拡張

2004年（平成16年）2月 王子公園教室開校

2005年（平成17年）3月 神戸北教室開校

2010年（平成22年）5月 株式会社 理数学院 創業

2010年（平成22年）7月 広陵理数・英語学院 開校

2010年（平成22年）11月 アプラス理数英語学院 開設（家庭教師部門）

2010年（平成22年）12月 六甲理数学院 開校

2012年（平成24年）4月 ロボット教室 開校（六甲・広陵教室）

2012年（平成24年）5月 長田理数学院 開校

2013年（平成25年）7月 長田教室でもロボット教室 開校

2013年（平成25年）～2015年（平成27年） 神戸市子ども子育て会議委員

【実績】

<合格実績>

●小学部

灘、東大寺、甲陽、白陵、神戸女学院、
六甲、ラサール、海星、親和、滝川、須磨学園、
仁川学院、関西学院、松蔭、甲南、甲南女子、
洛南、履正社、報徳、神奈川桐蔭、香川誠陵、
神戸国際、三田学院、武庫川女子、滝川第二、
明星、清風、同志社香理、啓明、神戸龍谷 ほか

●中学部

神戸第1学区、第2学区、第3学区全公立高校ほか各私立高校多数

●高校部

東京大学、京都大学、神戸大学、大阪府立大学、
大阪市立大学、兵庫県立大学、兵庫教育大学、
三重大学、岩手県立大学、関西学院大学、関西大学、
同志社大学、立命館大学、兵庫医療大学、神戸女学院大学、
甲南大学、慶応義塾大学、大阪産業大学、
武庫川女子大学ほか私立大学多数

●医歯学部・薬学部

兵庫医科大学、帝京大学医学部、東海大学医学部、金沢医科大学、
近畿大学医学部、日本大学医学部岩手大学医学部、大阪歯科大学、
神奈川歯科大学、奥羽大学歯学部、武庫川女子大薬学部、
神戸学院大薬学部、神戸薬科大学、兵庫医療大学薬学部 ほか

<取材記事>本文

「効率の良い学習」と「学ぶ意義」を生徒に伝える理数学院。勉強の質を高め、より深い理解につなげる指導法とは



生徒一人ひとりに対する細やかな指導と
アットホームな環境で自発的な学習を促す

神戸エリアで学習塾を展開する「株式会社 理数学院」。小学校から高校、浪人生、社会人まで幅広い年齢層の生徒を指導するのは、塾長の西川達也さんはじめ豊富な講師陣です。

「当塾では、講師全員が生徒全員を指導するシステムを採用しています。講師一人が全生徒に向けて講義をするのではなく、生徒一人ひとりを講師がきめ細かくフォローし、理解の早い生徒にはより深い理解を、あまり勉強が得意でない生徒に

は理解のきっかけを提供することが基本方針です。勉強の質を高め、勉強する目的の意識付けをすることが大事だと考えています」

教室内の机はコの字型に並べられ、その中心に講師が立ち、生徒と近い距離で授業を行います。こうすることで生徒も質問がしやすく、生徒同士が互いの質問内容を聞くことで、理解の相乗効果を促すことも可能なのだそうです。加えて、距離の近さはアットホームな雰囲気醸し出し、授業時間が終わった後もつい長居して自習する生徒が多いのだとか。

「親御さんから『子どもが塾に行くのを嫌がらず、居心地が良いと言っている』と聞くことが多いです。塾が楽しいと思えると、自発的な学習にもつながります」



勉強の質を高め、進路や悩みの相談にも真剣に向き合う「地域の名物先生」

居心地が良いだけでなく、名だたる中学や高校、大学に合格実績がある理数学院。ただ、西川さん自身は合格実績にあまり執着はありません。「自分のかかわった生徒たちが、勉強する意味を見つけて、目的を達成してくれることが何よりもうれしいんです」。そう言って頬を緩める西川さん。この言葉の通り、勉強のことはもちろん、進路やプライベートな悩みの相談にも乗るなど、生徒のことを親身に考えています。

現在、神戸の数カ所に教室を構え、約 80 名の生徒が在籍する同学院ですが、前身の西川塾は生徒 3 名からのスタートでした。教育方針は当時から今も変わらず、独自の指導により塾の名前は口コミで広がっていったそうです。

「勉強の質を高めるための指導で理解が深まった」「将来の進路や個人的な悩みにも真剣に向き合ってくれる」。次第に西川さんは「地域の名物先生」として知られるようになり、生徒数も少しずつ増えていきました。「教室が手狭になるにつれて、移転や拡張も何度か行いました。ですが、自分の目が届かなくなるほど生徒を増やすつもりはありません」。そう話す西川さんのモットーは、あくまで生徒一人ひとりに向けたきめ細かい指導なのです。



生徒全員がより良い未来へと歩んでいくために

勉強に対する理数学院の考え方は「塾に来ている間は、勉強の仕方を理解することに努めるべき」ということ。「塾に来て勉強している時間って、トータルでも週に数時間程度です。そのため、勉強の量自体は、学校や自宅でこなすべきなんです。問題の解き方についてポイントを要約して、勉強の質を上げる手助けをすることが私たち講師の役割だと考えています」

事実、生徒の親と話す機会があるときにも「子どもが家で勉強するようになるとは思わなかった」と喜ばれることが多いそう。「私は中学高校、大学と進学校に進みましたが、勉強自体はあまり好きではありませんでした。だから、そういう生徒の気持ちもわかりますし、将来のために勉強する大事さも理解しています。今後も勉強の量より質の向上を促す指導をすると同時に、生徒が自身の将来を見据えられるように、いろんな相談に乗ってあげたいと思っています」

生徒の未来を第一に考える西川さんは「神戸市子ども・子育て会議」の委員に選ばれ、その活動にも取り組んでいます。勉強を教えるだけにとどまらず、バーベキューをしたり、生徒の家族や友人みんなが参加できるクリスマス会を開いたり、教え子との交流に積極的です。

さらに「スポーツの良さを生徒に常々言い聞かせています」と西川さん。「勉強だけでは身につかないことが、スポーツにはたくさんあります。自分の人生を豊かにするためにも、無理のない範囲で何かしらスポーツに取り組んでほしいというのが私の願いです」。西川さん自身、中学時代に砲丸投げの大会で優勝し、高校の時には円盤投げで近畿大会の決勝に進出。大学ではアメリカンフットボール部に所属し関西1部リーグで活躍していました。

スポーツを通じて仲間と喜びや悔しさを分かち合ってきたからこそ、スポーツから得られるもののすばらしさを深く実感しています。現在はフラッグフットボールのチームに所属し、定期的に大会にも出場しているそうです。

一人ひとりの将来まで見据えた、独自の指導が評判の名物先生。そんな西川さんにひかれた生徒たちは、今日も理数学院で、自身の勉強と将来に向き合っています。

(取材年月：2013年11月)